

令和5（2023）年度における県内の高齢者虐待の状況について

令和6（2024）年12月25日
栃木県保健福祉部高齢対策課

1 趣旨

令和5（2023）年度中、県及び県内市町において把握された「養介護施設従事者等による高齢者虐待」及び「養護者による高齢者虐待」の状況を公表するもの。

（※「養介護施設従事者等による高齢者虐待」の状況については、「高齢者虐待の防止、高齢者の養護者に対する支援等に関する法律（H18.4.1施行）」第25条により公表が義務付けられている。）

2 調査内容

- （1）対象 65歳以上の高齢者が被虐待者となった事例
- （2）対象期間 令和5（2023）年4月1日から令和6（2024）年3月31日まで
- （3）調査項目 通報件数、被虐待者の状況、虐待の種別、虐待者の状況など

3 調査結果

（1）養介護施設従事者等による高齢者虐待

| | 令和元年度 (2019) | 令和2年度 (2020) | 令和3年度 (2021) | 令和4年度 (2022) | 令和5年度 (2023) |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 相談・通報受理件数 | 16件 | 17件 | 21件 | 44件 | 41件 |
| 虐待を受けたと判断された件数 | 1件 | 7件 | 6件 | 4件 | 13件 |
| 被虐待者数 | 1人 | 13人 | 5人 | 4人 | 13人 |

（2）養護者による高齢者虐待

| | 令和元年度 (2019) | 令和2年度 (2020) | 令和3年度 (2021) | 令和4年度 (2022) | 令和5年度 (2023) |
|----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|-----------------|
| 相談・通報受理件数 | 355件 | 443件 | 415件 | 390件 | 402件 |
| 虐待を受けたと判断された件数 | 217件 | 236件 | 208件 | 125件 | 148件 |
| 被虐待者数 | 224人 | 243人 | 212人 | 127人 | 154人 |

〈被虐待者の状況〉

- ① 性別 … 女性が73%、男性が27%となっている。
- ② 年齢 … 70～79歳の方が28%、80～89歳の方が53%となっており、70歳～80歳代が全体の81%を占めている。
- ③ 認知症の有無 … 認知症ありの方が84%となっている。（介護保険認定済みの方のみを対象）
- ④ 要介護度 … 介護保険の認定を受けている方が83%となっている。

〈虐待の種別〉

「身体的虐待」が45%で最も多く、次いで「心理的虐待」が24%、「介護・世話の放棄・放任」が17%、「経済的虐待」が13%、「性的虐待」が1%となっている。

〈被虐待者と虐待者との関係〉

「息子」による虐待が43%で最も多く、次いで「娘」が18%、「夫」が17%となっている。

〈相談・通報者の種別〉

「介護保険事業所職員等」が38%で最も多く、次いで「警察」が31%、「家族・親族」が8%となっている。

〈被虐待者と虐待者との同居・別居の状況〉

同居が91%となっている。

〈被虐待者の世帯構成〉

「未婚の子と同一世帯」が34%で最も多く、次いで「夫婦二人世帯」が21%、「配偶者と離別死別した子と同一世帯」が14%となっている。

〈虐待への対応策〉

虐待事例への市町の対応は、「被虐待高齢者の保護として虐待者からの分離」が26%となっており、分離を行った場合の対応内容としては、「契約による介護サービス利用」が43%で最も多く、次いで「やむを得ない事由による措置」が25%、「緊急一時保護」が18%となっている。

また、分離をしていない場合の対応内容は、「養護者に対する助言・指導」が45%で最も多く、「ケアプランの見直し」が30%、「その他」が8%となっている。